

株式会社レスター

2026年3月期 決算説明会資料

2026年5月15日

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

<お問い合わせ先>
レスター 経営管理室
E-mail: irpr@restargp.com

Agenda

- 1 2026年3月期 連結業績ハイライト P4
- 2 2027年3月期 連結業績予想及び配当予想 P13
- 3 中期経営計画最終年度に向けて P19
- 4 Company Profile P30

Agenda

- 1 2026年3月期 連結業績ハイライト P4
- 2 2027年3月期 連結業績予想及び配当予想 P13
- 3 中期経営計画最終年度に向けて P19
- 4 Company Profile P30

売上高

630,905 百万円

(前年同期 561,001 百万円)

前期比 12.5%増

過去
最高

TOPICS

- 5期連続で過去最高を更新
- M&Aや前連結会計年度に設立した合併会社の連結子会社化に伴う増収(↑)
- 高機能カメラ向けやPC関連機器、さらには生成AI用などのデータセンター向けを中心とした商材の伸長(↑)

営業利益

16,739 百万円

(前年同期 14,174 百万円)

前期比 18.1%増

営業利益率 2.7%

過去
最高

TOPICS

- 過去最高益を更新
- M&Aや前連結会計年度に設立した合併会社の連結子会社化に伴う増収(↑)
- デバイス事業の伸長による増益(↑)
- エコソリューション事業における新電力の需給調整市場の競争激化(↓)

親会社株主に帰属する純利益

7,691 百万円

(前年同期 7,473 百万円)

前期比 2.9%増

純利益率 1.2%

過去
最高

TOPICS

- 過去最高益を更新
- 営業利益の増加に伴う増益(↑)
- 資金調達にかかるコストの低減(↑)
- 前年同期における連結子会社の清算に伴う税効果の剥落(↓)

ROE

24年3月期
8.5%25年3月期
8.8%26年3月期
8.6%

OPM

24年3月期
3.1%25年3月期
2.5%26年3月期
2.7%

ROIC

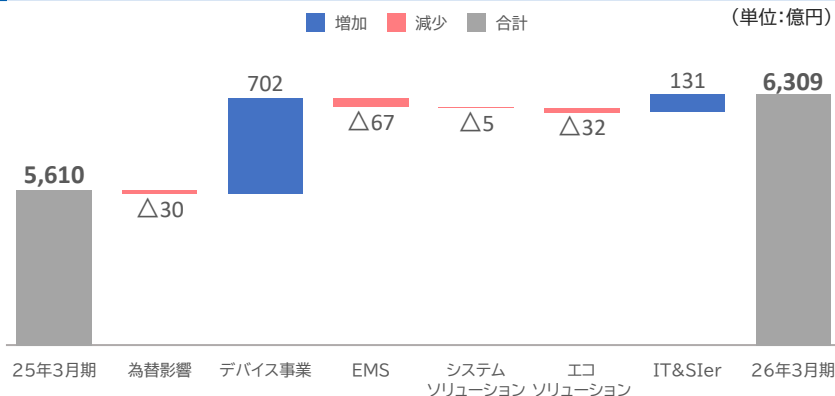
26年3月期
5.1%

2026年3月期連結業績

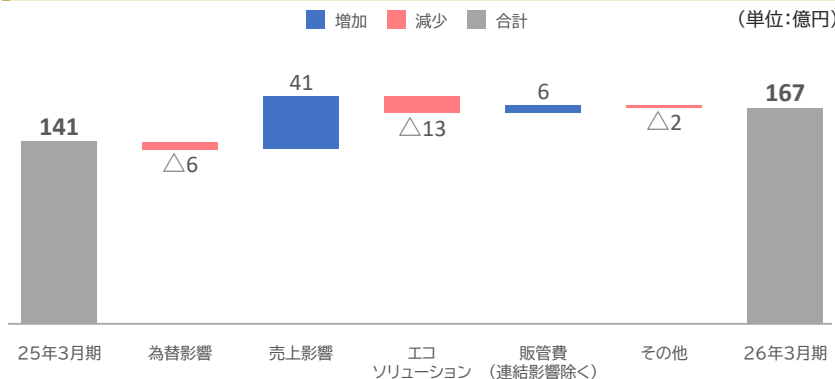
(単位:百万円)	2025年3月期 通期		2026年3月期 通期		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	561,001	—	630,905	—	69,903	12.5%
売上総利益	47,700	8.5%	53,613	8.5%	5,913	12.4%
販売管理費	33,526	6.0%	36,873	5.8%	3,347	10.0%
営業利益	14,174	2.5%	16,739	2.7%	2,565	18.1%
経常利益	9,559	1.7%	13,762	2.2%	4,202	44.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,473	1.3%	7,691	1.2%	218	2.9%

増減要因

売上高



営業利益



TOPICS(売上高)

デバイス事業：前連結会計年度に設立した合併会社の連結子会社化
高機能カメラ向けやPC関連機器向け、さらには生成AI用などのデータセンター向けを中心とした商材の伸長（↑）

EMS事業：前連結会計年度におけるスマートフォン新機種への搭載効果の剥落により減収（↓）

IT&SIerBU：連結効果による増収（↑）

TOPICS(営業利益)

デバイス／IT&SIer事業：M&Aや前連結会計年度に設立した合併会社の連結子会社化の増収効果（↑）

デバイス事業：期後半の生成AI用などのデータセンター向けを中心とした商材好調（↑）

エコソリューション事業：新電力分野における需給調整市場での競争激化（↓）

為替レート

25年3月期:152.57円/\$

26年3月期:150.77円/\$

デバイスビジネスユニット

(単位:百万円)

売上高

セグメント利益

EMS

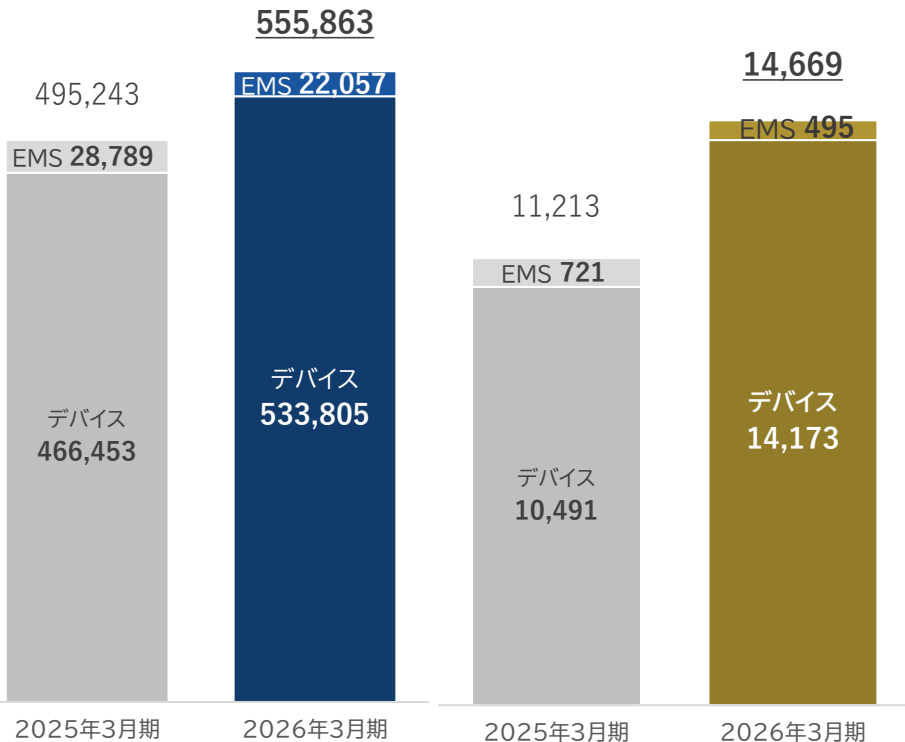
前連結会計年度におけるスマートフォン新機種への搭載効果が剥落したことにより減収

デバイス

- ・ 生成AI用などのデータセンター向けを中心とした商材が好調に推移したことに加えて、前連結会計年度の合併会社設立による連結子会社化(2024年7月Restar Dexerials Hong Kong Limited、2025年1月Restar Dexerials Korea Corporation、2025年2月Restar Dexerials Taiwan Corporation)が売上に貢献
- ・ 高機能カメラやPC関連機器を中心とした民生向けは好調に推移したこと、さらには車載向けにおいては新規ビジネスの立ち上げがあったほか、産業機器向けにおいても回復

セグメント利益

デバイス事業における増収に加え、販売ミックスの改善に伴い増益



システムビジネスユニット

(単位:百万円)

売上高

セグメント利益

エコソリューション

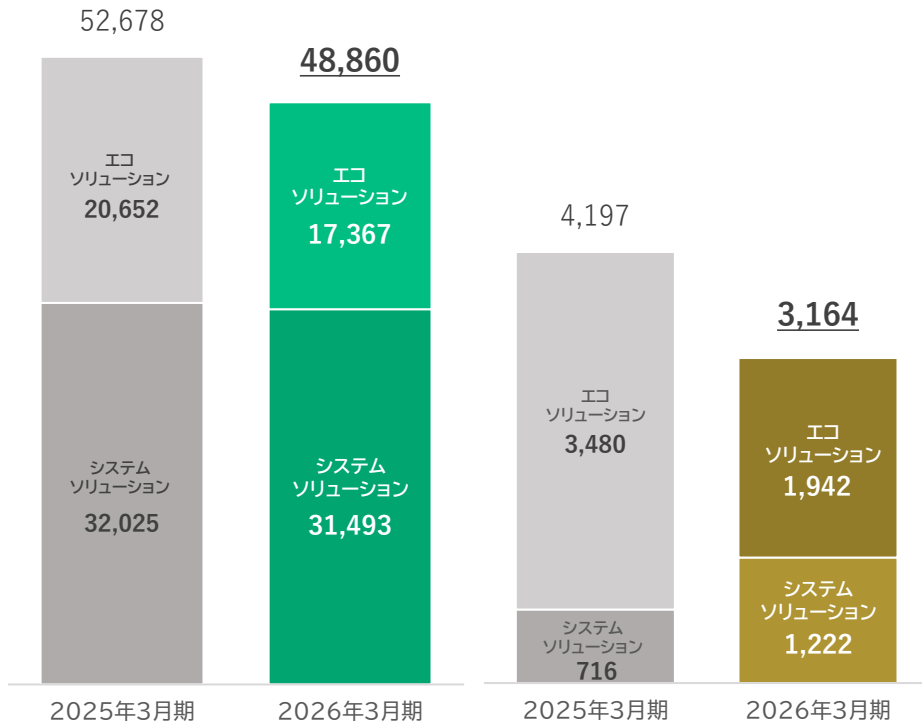
太陽光発電所の新規稼働による増収効果はあったものの、新電力分野における電力小売ビジネスの減収や需給調整市場の競争激化に伴い減収

システムソリューション

ライブイベントの回復による需要増加や大型スタジオ移転案件の受注、公共関連分野における新規入札案件の獲得などにより堅調に推移したものの、決済端末などのシステム機器における販売が低調に推移したことなどにより減収

セグメント利益

主にエコソリューション事業における減収により減益

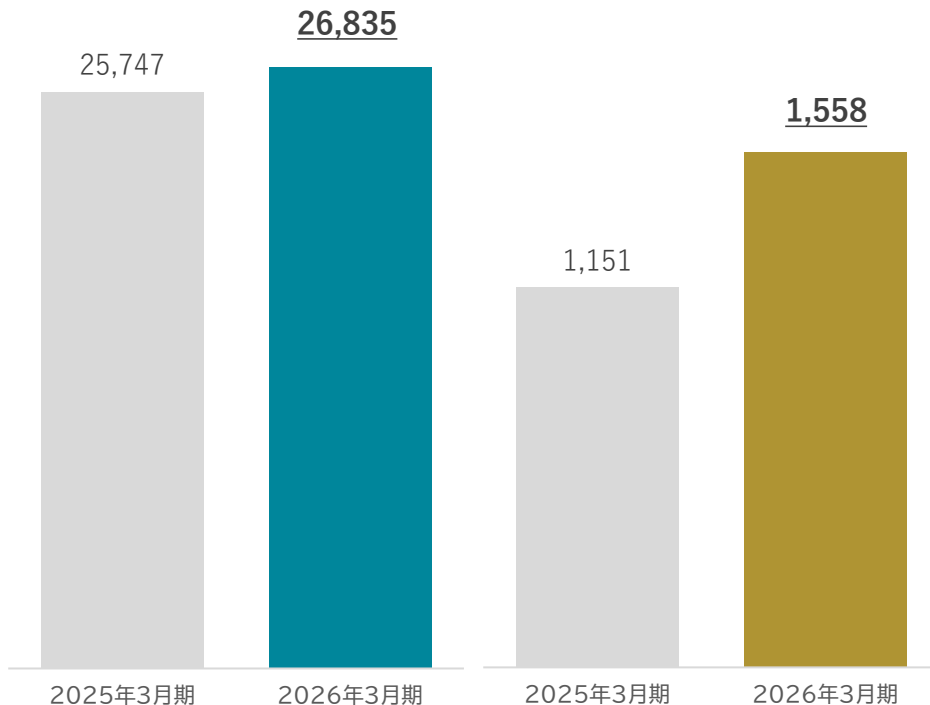


(単位:百万円)

売上高(参考値)

セグメント利益(参考値)

*グラフの数値は連結子会社であるPCIホールディングス株式会社(東証スタンダード市場:3918)より本日開示されました「2026年3月期決算説明資料」より抜粋しております



IT&Sier

PCIグループの技術力を活用し、当社グループの顧客基盤を活かした案件獲得に向けた提案活動を推進する中、精密機器メーカーや産業機器メーカーなどの製造業における新規領域での案件も獲得。さらには、PCIグループ内の組織再編も実行し、デバイスBUと連携した当社グループのエンジニアリング機能の強化を図る

売上高

(当社連結上の数値)

26,181百万円

セグメント利益

(当社連結上の数値)

1,245百万円

連結貸借対照表

2025年3月末

(単位:百万円)

310,022

売掛金 113,713	短期借入金 52,539
商品及び製品 53,647	支払手形及び買掛金 71,724
現金及び預金 44,417	その他流動負債 20,887
その他流動資産 28,791	固定負債 64,810
固定資産 69,407 繰延資産 46	純資産 100,061

資産の部

負債・純資産の部

2026年3月末

349,551

売掛金 144,255	短期借入金 68,515
商品及び製品 64,071	支払手形及び買掛金 90,329
現金及び預金 44,930	その他流動負債 22,202
その他流動資産 27,280	固定負債 59,001
固定資産 68,984 繰延資産 30	純資産 109,504

資産の部

負債・純資産の部

主な増減要因

(単位:百万円)

資産の部	
流動資産	売掛金 + 30,542、商品及び製品 + 10,424
固定資産	—
負債・純資産の部	
流動負債	支払手形及び買掛金 + 18,604 短期借入金 + 15,976
固定負債	長期借入金 △5,458
純資産	利益剰余金 + 4,317 為替換算調整勘定 + 2,580 非支配株主持分 + 2,192

自己資本比率*1

25年3月末 **27.7%**(29.3%) ▶ 26年3月末 **26.6%**(28.1%)

ネットD/Eレシオ*2

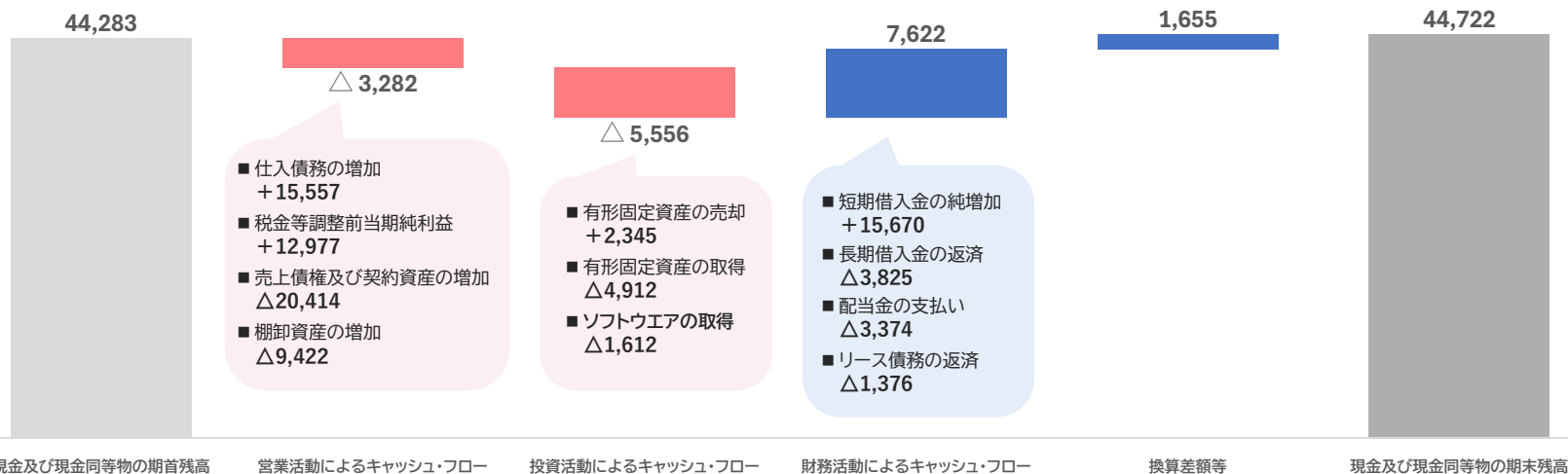
25年3月末 **0.6倍** ▶ 26年3月末 **0.7倍**

*1)内の数字は、ハイブリッドローン(劣後特約付きローン)を加味した格付上の数値(2024年8月に調達したハイブリッドローン(劣後特約付きローン)100億円については格付上の資本性50%を考慮して計算)

*2ネットD/Eレシオ=(リース債務を除く有利子負債－現金及び預金)÷自己資本 → **安定的に1.2倍を下回る水準を維持**

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	39,771	44,283	4,512
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー	20,196	△3,282	△23,479
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー	61	△5,556	△5,618
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,110	7,622	23,733
■ 換算差額等	364	1,655	1,290
現金及び現金同等物の期末残高	44,283	44,722	438



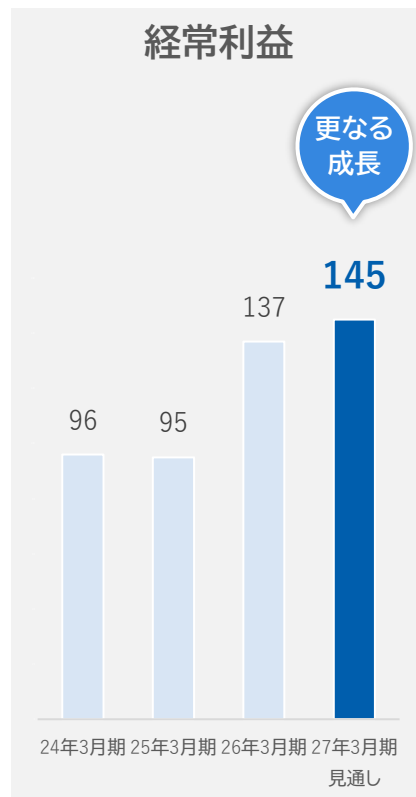
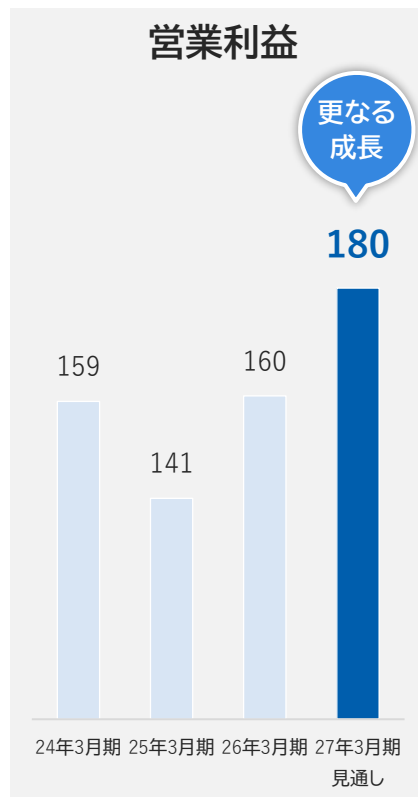
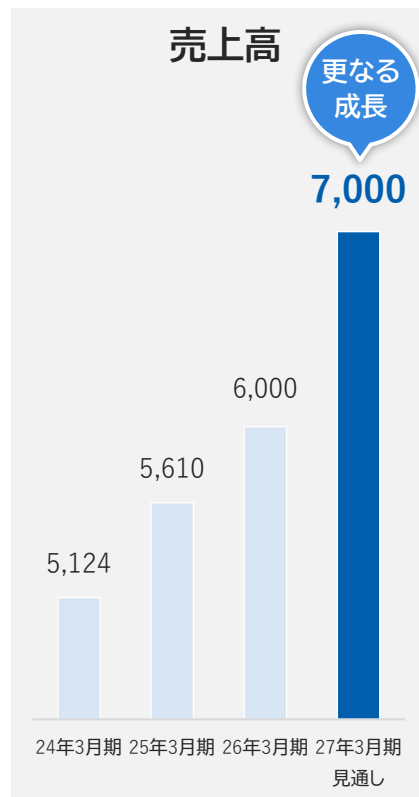
Agenda

- 1 2026年3月期 連結業績ハイライト P4
- 2 2027年3月期 連結業績予想及び配当予想 P13**
- 3 中期経営計画最終年度に向けて P19
- 4 Company Profile P30

(単位:百万円)	2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期見通し	前期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	630,905	700,000	69,095	11.0%
営業利益	16,739	18,000	1,260	7.5%
経常利益	13,762	14,500	737	5.4%
親会社株主に帰属する 純利益	7,691	10,000	2,308	30.0%

2026年3月期に過去最高となった売上高、営業利益、経常利益、純利益すべてにおいて更なる成長を目指す

(単位: 億円)



ビジネスユニット別見通し

		2026年3月期 通期実績	2027年3月期 通期見通し	前期比	
(単位:百万円)		金額	金額	増減額	増減率
売上高	デバイスBU	555,863	611,000	55,136	9.9%
	デバイス	533,805	591,000	57,194	10.7%
	EMS	22,057	20,000	△2,058	△9.3%
	システムBU	48,860	60,000	11,139	22.8%
	システムソリューション	31,493	40,400	8,907	28.3%
	エコソリューション	17,367	19,600	2,232	12.9%
	IT&SIerBU	26,181	29,000	2,819	10.8%
	連結	630,905	700,000	69,095	11.0%
セグメント利益	デバイスBU	14,669	14,350	△319	△2.2%
	デバイス	14,173	14,000	△174	△1.2%
	EMS	495	350	△145	△29.3%
	システムBU	3,164	3,800	635	20.1%
	システムソリューション	1,222	1,300	78	6.3%
	エコソリューション	1,942	2,500	558	28.7%
	IT&SIerBU	1,245	1,600	354	28.4%
	全社・調整	△2,340	△1,750	590	—
	連結	16,739	18,000	1,260	7.5%

中期経営計画見直し

売上高

(単位:億円)

8,000

2027年3月期計画
(25/5/13開示)

7,000

M&A

2027年3月期計画
(26/5/14開示)

営業利益 (連結には全社コストを含む)

(単位:億円)

op率 3.5%~

ROE 11.0%
ROIC 6.0%

2027年3月期計画
(25/5/13開示)

op率 2.6%~

M&A

ROE 10.5%
ROIC 5.5%

2027年3月期計画
(26/5/14開示)

2026年3月期振り返り

デバイスBU

- 産機の回復遅れに伴う売上影響
// 収益性におけるミックスの悪化
- 海外ビジネスにおけるパートナーシップの時期見直し
- EMS事業の成長戦略見直し
→スマホ関連は堅調も、車載や民生向けは停滞

システムBU

- 決済端末などのシステム機器関連の成長鈍化
- 電力関連における環境変化等

その他

- IT & SIerBU ▶ グループ内外に向けたPCIホールディングスのソリューション力強化に加え、更なるパートナーの選定による機能強化及び規模拡充
- エンジニアリングBU ▶ 親和性の高いデバイスBU内に本部としての基盤組織を立ち上げるなど、新規の事業ポートフォリオ確立に向けた取り組みを推進中

株主還元方針及び配当予想

株主還元方針

■ 2027年3月期を最終年度とする中期経営計画の期間の基本方針

- ・ 安定的な株主還元の充実、成長領域への積極的な投資と財務健全性のバランスを考慮
- ・ 連結株主資本配当率(DOE*)4%以上
- ・ 安定的且つ継続的に増配の実施
- ・ 余剰資金については機動的な自社株買い

*DOE(Dividend on Equity):株主資本配当率 = 配当額÷株主資本 = 配当利回×PBR
株主資本をベースとするため、配当性向に比べて、利益のブレに対する影響が少なく、安定的な配当となります。
当社は、株主の皆様安心して長期保有いただけるよう、DOEを重要な指標として捉えて、株主還元を行ってまいります。

2027年3月期 配当予想

第2四半期末

65 円

期末

70 円

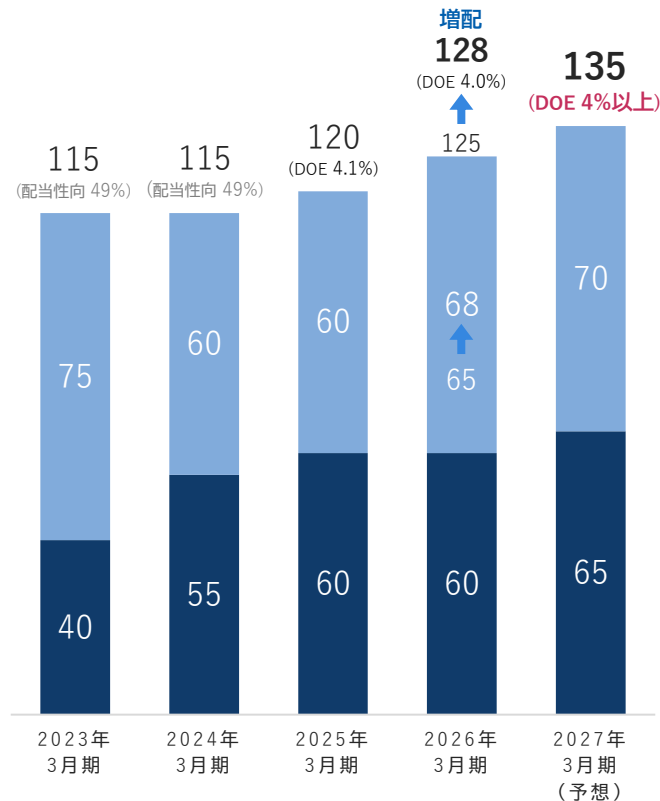
合計

135 円

1株当たり配当金

(単位:円)

■ 第2四半期 ■ 期末 ■ 記念配当・特別配当



Agenda

- 1 2026年3月期 連結業績ハイライト P4
- 2 2027年3月期 連結業績予想及び配当予想 P13
- 3 中期経営計画最終年度に向けて P19**
- 4 Company Profile P30

事業環境はかつてないスピードで変化

マクロ経済・市場



インフレ

金利上昇

為替ボラティリティ

米関税影響

原材料・エネルギー高騰

地政学的リスク



経済安全保障

イラン戦争

ウクライナ侵攻継続

米中デカップリング

チャイナ+1

成長分野



AI

ロボティクス

モビリティ

データセンター

セキュリティ

エネルギー

業界構造の変化



クロスボーダーM&A

代理店の集約

異業種の参入

メーカー直販化

商社の様態変化

これまでの半導体商社の変遷と今後の展開について

従来の半導体商社を超えた技術領域(IT & Sierやエンジニアリング)の機能拡充と、グローバルなソリューション提供による顧客価値創造企業への転換



オーディオ機器メーカーの勃興

1960-1970年代

半導体普及を支えた
流通と与信機能

ー日本の半導体普及を支えた商流ー

半導体市場の黎明期、大手メーカーは大口顧客への販売が中心であり、中小顧客への供給体制も限定的。半導体商社は、在庫保有や与信機能を担い、メーカーと幅広い顧客をつなぐ役割として市場拡大を支援。

供給網形成型



テレビ・家電市場の隆盛

1980-1990年代

エレクトロニクス市場拡大と
商社機能の確立

ー国内産業成長を支えた需給調整機能ー

国内エレクトロニクス産業の成長に伴い、半導体需要は急速に拡大、更には外資系半導体メーカーも日本市場への参入する中、在庫・物流・販売機能を通じて安定供給を支え、メーカーの需給調整を担う重要な流通機能として存在感を示す。

プロダクトアウト型



半導体の需要拡大と高集積化

2000-2010年代

グローバル化対応の加速

ー海外展開とSCM支援機能の強化ー

顧客の生産拠点海外移転や市場のグローバル化が進展する中、半導体商社もグローバルネットワークを拡充。部材供給に加え、調達・物流を含むサプライチェーンマネジメント機能を強化。

マーケットイン型



グローバル化と技術支援

2020年代以降

高付加価値化への転換期
ー技術支援機能を備えた存在へ進化ー

半導体の高度化やグローバル化を背景に、従来の流通機能中心の事業モデルから、設計・開発支援など技術領域まで機能を拡張し、半導体商社を超えた付加価値提供が必須に。

プラットフォーム型

目指す姿

エレクトロニクスの
情報プラットフォーマー

半導体商社を超えた
付加価値提供

半導体商社の誕生

半導体商社の多様化・群雄割拠

合従連衡の時代へ

主な経営課題への取組み

1 経営体質の改善

人財活性プラン	若手社員の選抜・育成 女性社員の幹部登用
職能ガバナンス	グループ横断の職能確立 (人事・経理職能から)

2 働き方改革

生成AI活用推進 ^{*1}	AI議事録導入 生成AIの業務活用による効率化
スピード経営への取組み	会議の見直し・削減、決裁ルート短縮など

3 シナジーの発揮

データドリブン経営	RMS ^{*2} を活用した営業活動
グループ横断での新規事業の創出	製造DX、データセンター向け商材等、成長領域への横断プロジェクト推進、成果刈取り

4 風土改革

MVV定着	エレクトロニクスの情報プラットフォームの体现の具現化と職場への浸透
コミュニケーション活性化	グループ横断の経営改革プロジェクトによる組織間のコミュニケーションの活性化

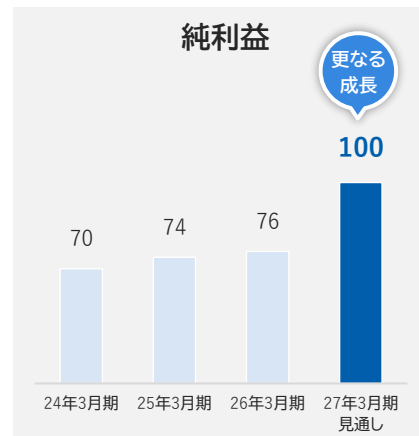
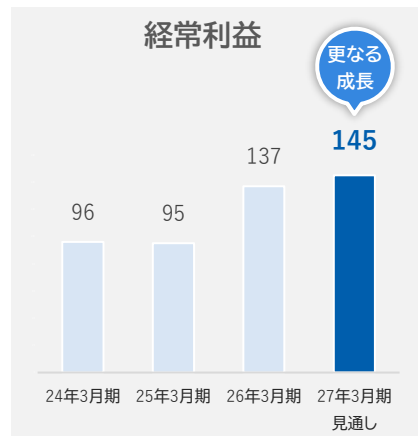
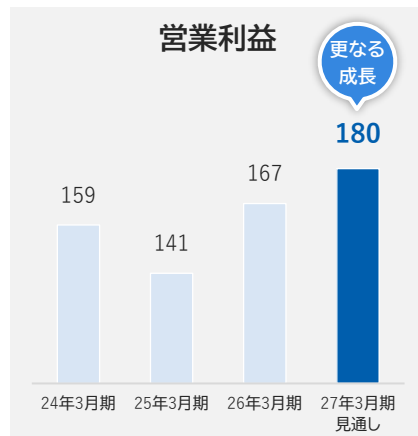
^{*1} 本件に関するプレスリリースはこちら> <https://pdf.irpocket.com/C3156/w4ok/vorE/IPak.pdf>

^{*2} RMS(Restar Matching Service): 当社の提供する無料ビジネスマッチングプラットフォーム。ご利用はこちらから> [RMS | レスターマッチングサービス](#)

26年度の重点施策

更なる成長を目指した重点施策の実行

(単位: 億円)



26年度の重点施策

データドリブン経営の加速

- ✓ 各種データの集約・分析ができる情報PF構築
- ✓ BIツールの充実

エンジニアリング機能強化

- ✓ デバイス事業領域の拡大
＜設計、検査、ターンキーソリューションの実践による顧客価値の創出＞

IT&SIerにおけるDX支援

- ✓ グループの顧客基盤を見渡しサプライチェーン全体の顧客DXを支援

グローバル基盤の拡大

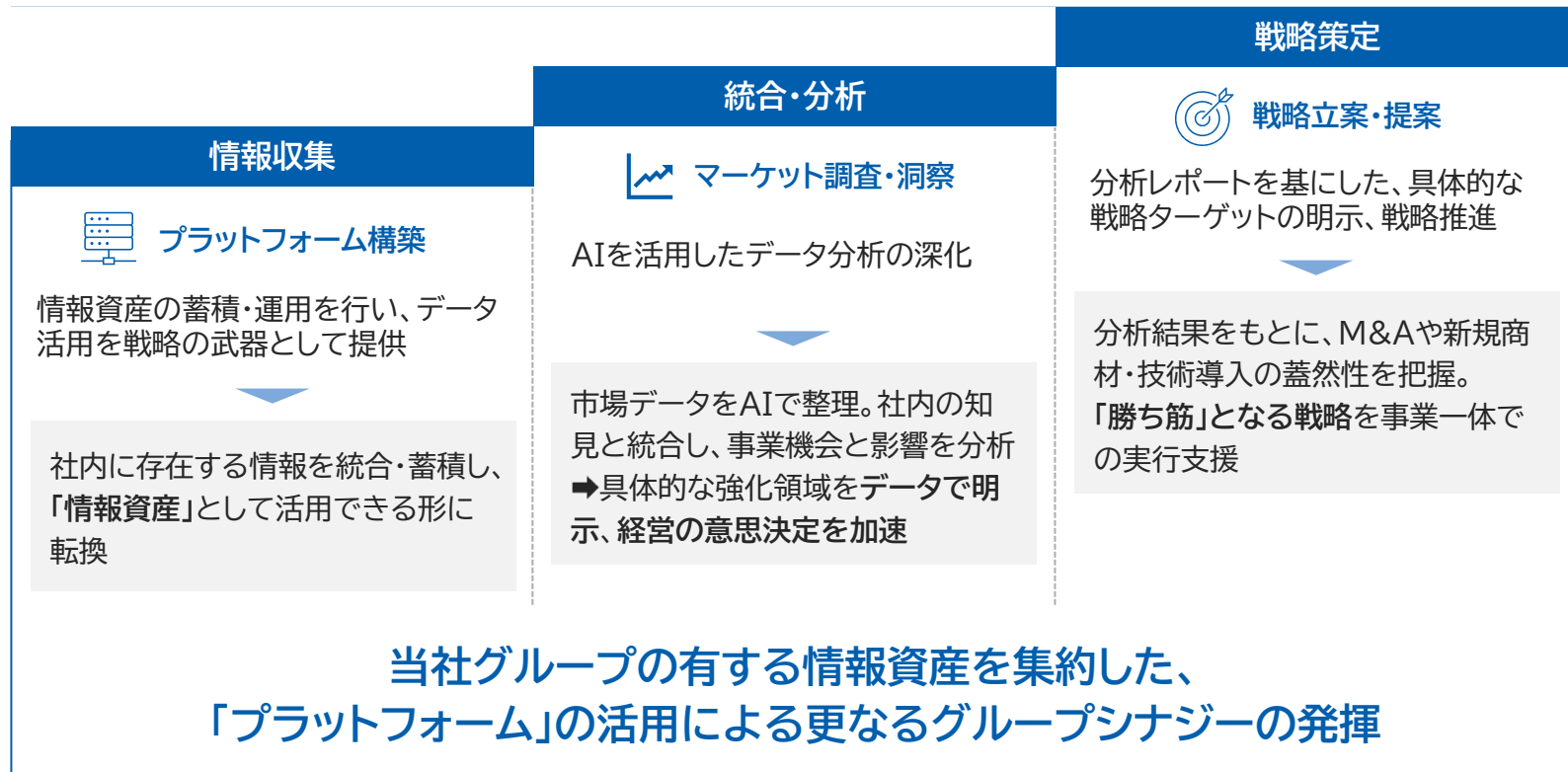
- ✓ グローバルHQ制の導入に向けた人材育成と体制強化（海外売上比率アップをアウトプット）

事業ポートフォリオの改革

- ✓ 弛まない事業ポートフォリオの見直しによる企業価値の向上

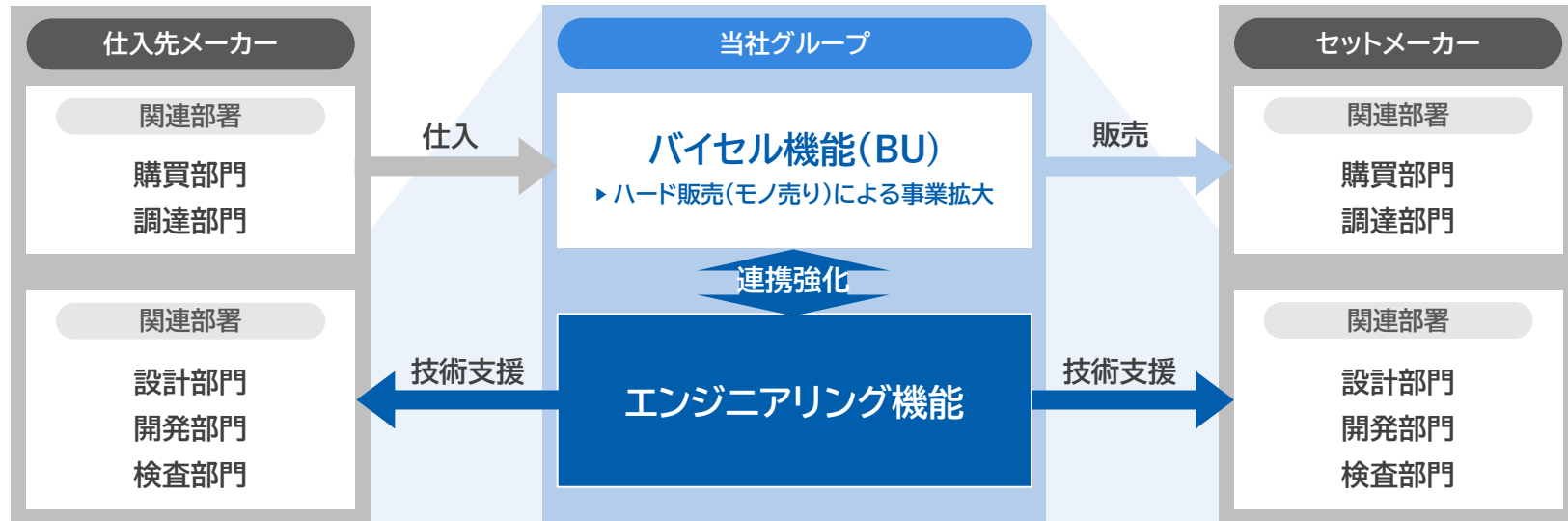
データドリブン経営に向けた取り組み

社内外の各種データの収集・可視化・分析による、データドリブン経営の実践



エンジニアリング機能強化

グループ内組織の再編、専門組織の設立、他社協業等によるエンジニアリング機能（顧客価値創造）の強化



BUのセールス・マーケティング部門と連携し付加価値を創出
デバイス流「情報プラットフォーマー」の価値連鎖を実現

IT & SIerにおけるDX支援

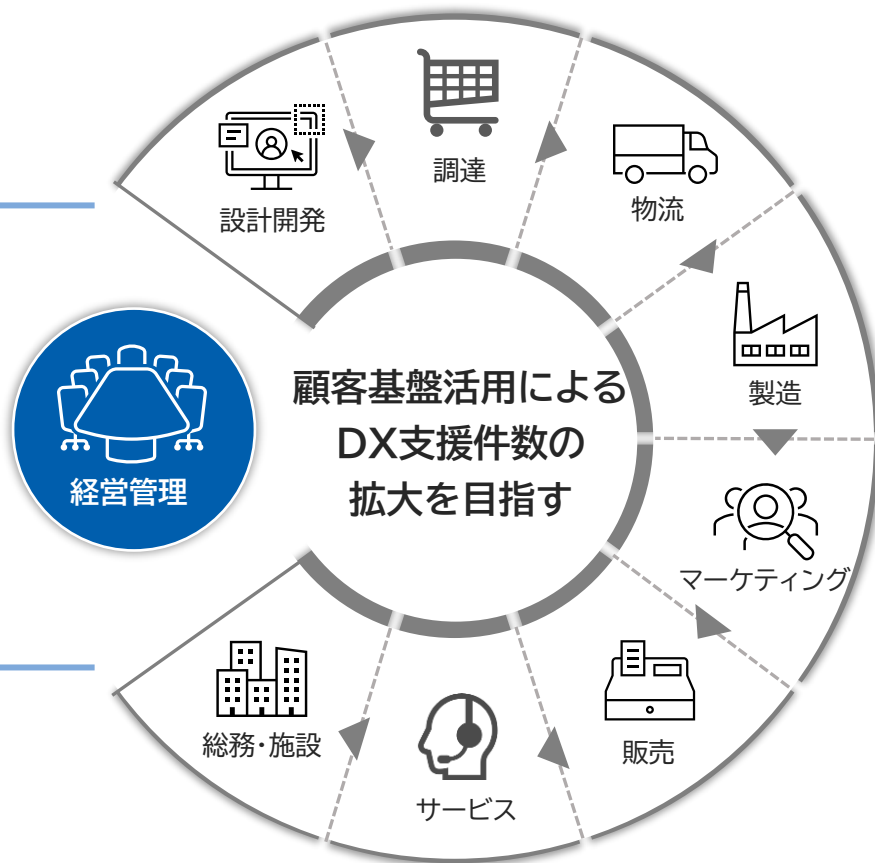
IT & SIerBUでのレスタグループ顧客基盤の活用による、サプライチェーン全体におけるDX支援を推進中

データ分析基盤 ▶ 製造現場の膨大なログを蓄積し、タイムリーに可視化

SI ERP導入支援 ▶ ERP導入時の幅広いシステム課題を解決

業務サブシステム構築 ▶ ノーコードツールで短時間で構築

固定資産管理 ▶ 固定資産の取得から移動、除却の一元管理



設計開発

組み込み機器ソフトウェア開発 ▶ 顧客ニーズに基づくカスタム組み込み製品開発

組み込みPC開発 ▶ 医療機器等の特定用途向け組み込みPC提供

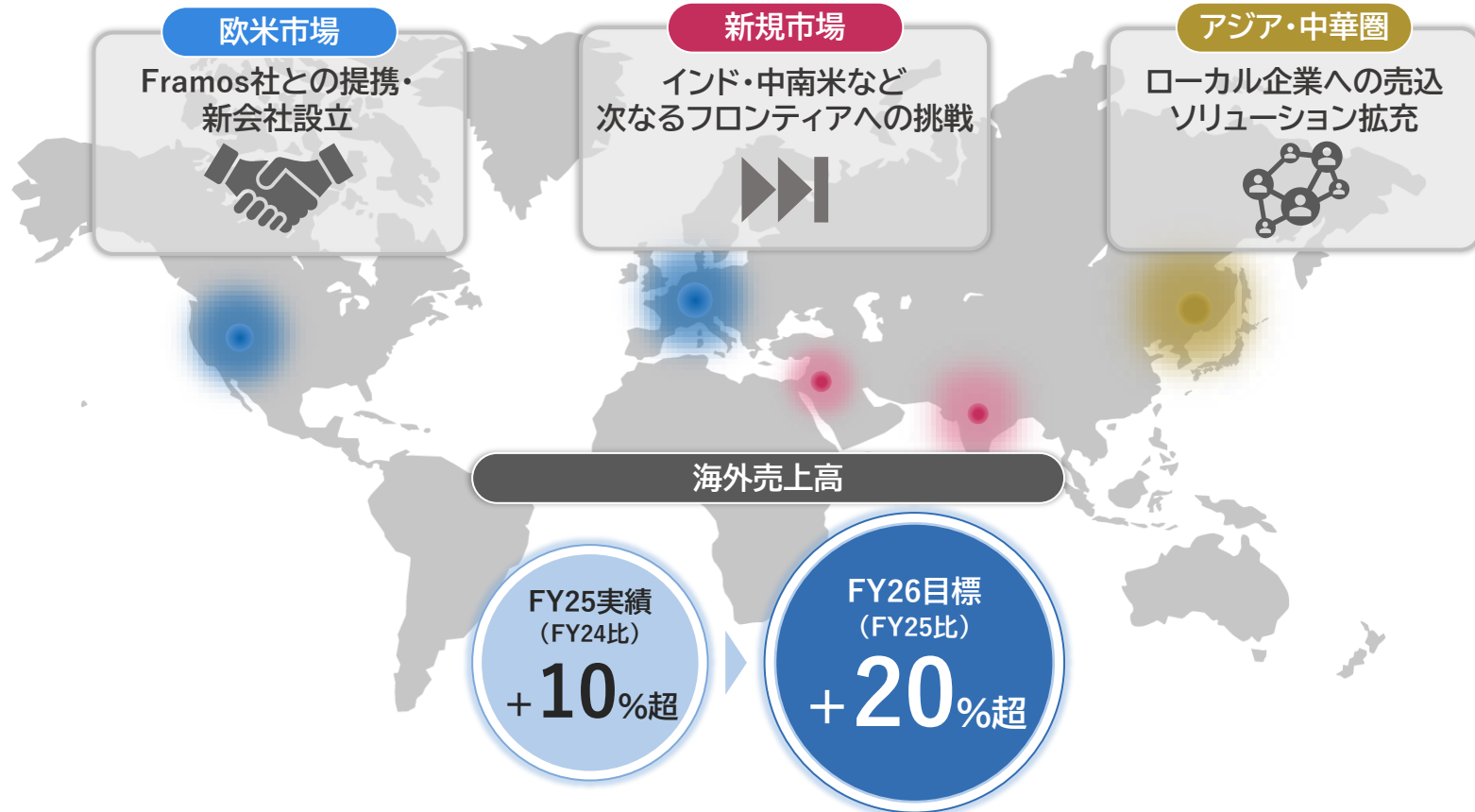
調達

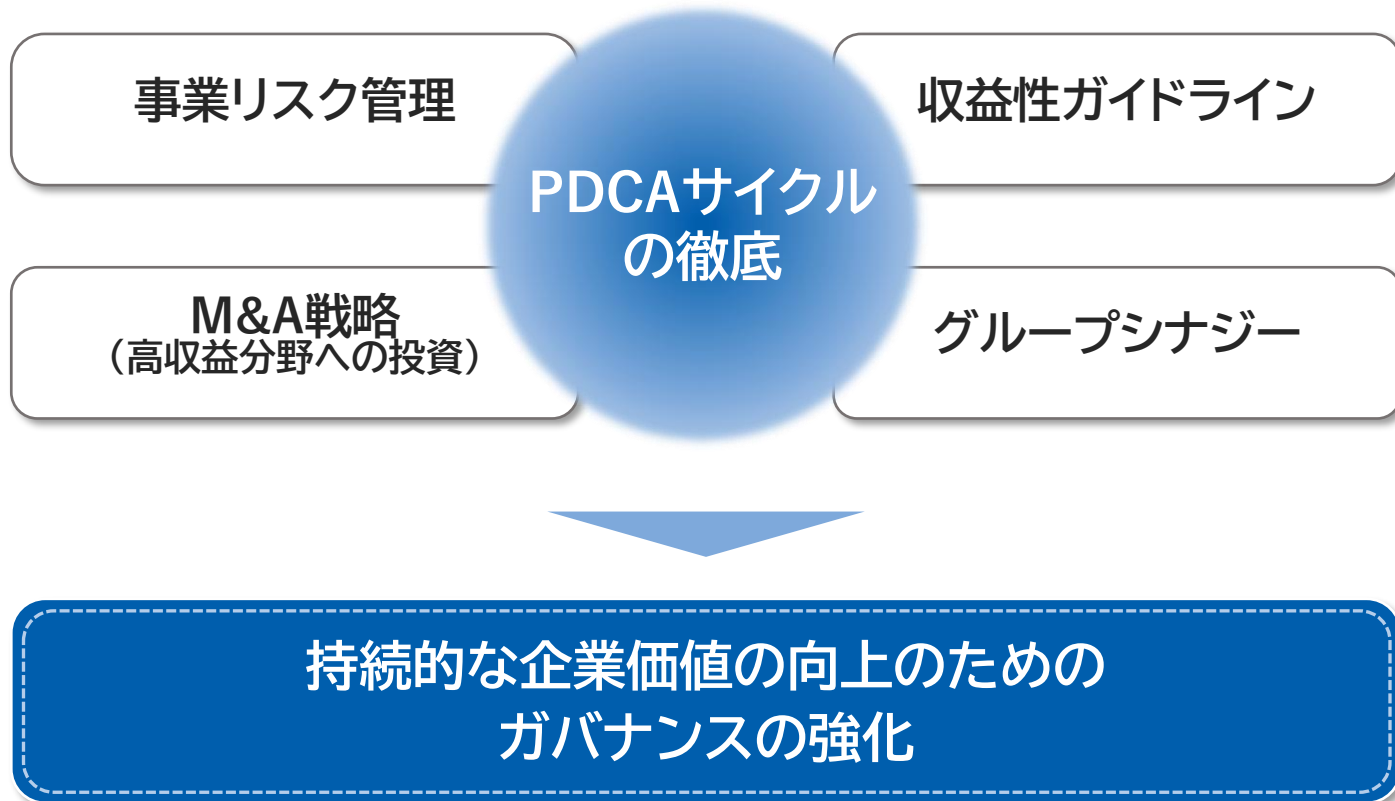
SCMソリューション提供 ▶ サプライチェーンを統合的に管理、需要予測や供給・在庫を最適化

製造

AIによるMES支援 ▶ 危険通知や、画像解析による異常検知等

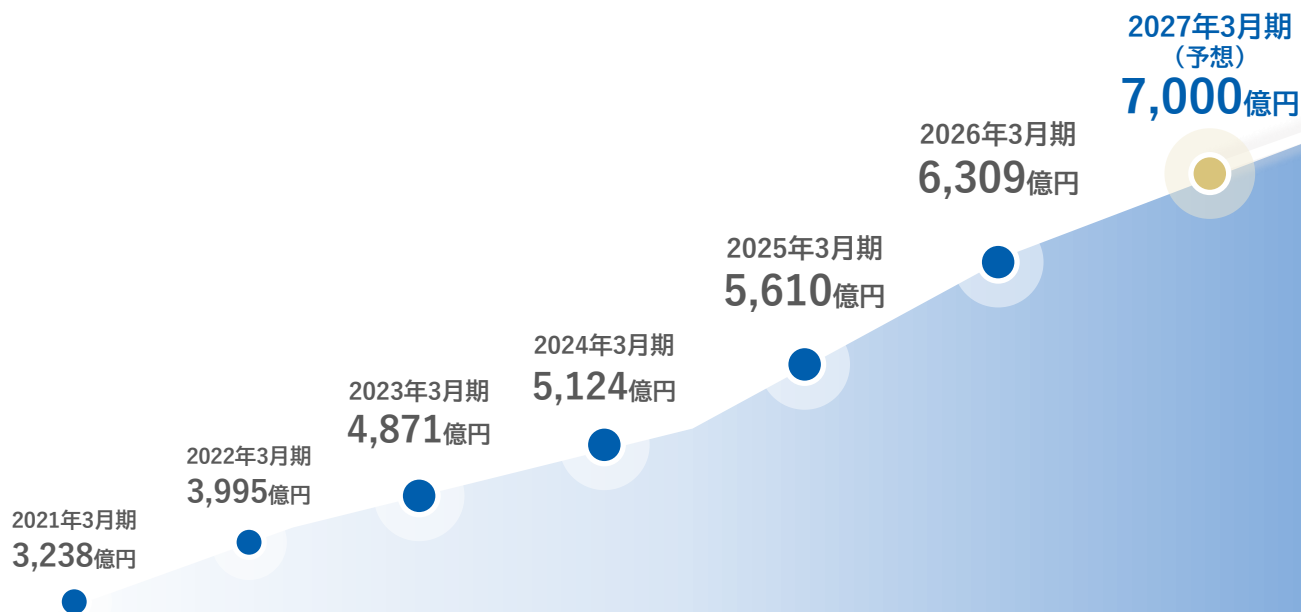
グローバルHQ制の導入に向けた準備





過去からの実績に裏付けされた経営力
私たちが目指す「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」へ！

売上高 **1** 兆円へ



エレクトロニクスの
情報プラットフォーム

Agenda

- 1 2026年3月期 連結業績ハイライト P4
- 2 2027年3月期 連結業績予想及び配当予想 P13
- 3 中期経営計画最終年度に向けて P19
- 4 Company Profile P30**

レスターグループ 経営理念

Mission ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

Vision ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します

世界・社会貢献・共創と革新

Values バリュー

多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します

常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます

活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します

レスターグループ事業概要

会社概要



会社名 株式会社レスター（英文名: Restar Corporation）

本社所在地 東京都港区港南二丁目10番9号 レスタービルディング

代表取締役
会長CEO 今野 邦廣
社長COO 林 真一

資本金 43.8億円

従業員数 4,455人(2025年9月末時点)

設立 2009年10月

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場

証券コード 3156

事業紹介



*BU:ビジネスユニット

人的資本

- ① 「健康経営優良法人2026(大規模法人部門)」認定取得^{*1}



- ② 女性活躍促進における女性管理職比率

FY30目標 **10%**

- ③ タウンホールミーティングの実施による組織風土の醸成

ステークホルダーとの対話

- ① 機関投資家との面談件数

FY24比(実績)

10%増

FY25比(目標)

15%増

- ② ①のうち、海外機関投資家との面談件数

FY24比(実績)

25%増

FY25比(目標)

20%増

▶ 引き続き、積極的に会話の機会を設け、エンゲージメント確保を図る

アスリート支援

新たな挑戦、更なる高みを目指すアスリートたちを支援し、共に新たな夢に挑む



^{*1} 本件に関するプレスリリースはこちら> <https://pdf.irpocket.com/C3156/rJAn/AyU5/nXDV.pdf>

^{*2} 本件に関するプレスリリースはこちら> <https://xml.irpocket.com/C3156/MSP.pdf>

^{*3} 本件に関するプレスリリースはこちら> <https://xml.irpocket.com/C3156/FNA.pdf>

エレクトロニクスに関する世界中の課題を解決する。



最新のIR資料等は[こちら](#)からご覧いただけます。